

学外研修報告書

技術センター フィールド科学系部門 生物科学班

内田慎治

日本蘚苔類学会第 46 回群馬大会報告

1. はじめに

日本蘚苔類学会が毎年行っている大会であり、蘚苔類の研究者や博物館の学芸員、一般の蘚苔類に興味のある方などが参加する大会である。蘚苔類を扱う研究室の技術職員としてスキル・知識向上と情報交換を目的とし、研究成果の発表を行った。

2. 期間・場所

期間：平成 29 年 8 月 29 日～31 日

会場：群馬県利根郡みなかみ町・水上公民館（群馬県利根郡みなかみ町湯原 441）

3. 参加者等

94 名（蘚苔類の研究者や大学教員・学生、博物館の学芸員、蘚苔類に興味のある方、地元の方など）

4. 研修内容

- 1 日目：大会記念コケ講座と記念講演会『群馬県のコケ類の特徴』、『国の天然記念物「六合チャツボミコケ生物群集の鉄鉱生成地」』

2 日目：奨励賞の受賞講演，研究発表（口頭発表，ポスター発表），蘚苔類の研究者や博物

館の学芸員，一般の蘚苔類に興味のある方などとの情報交換

3 日目：谷川岳の天神平でエクスカージョン

5. まとめと感想

大会記念のコケ講座では，コケを学ぶ学生や一般の方にわかりやすい同定を行う上での着目点などの講座が行われた。今後そのような講座を行う上で非常にためになる講座だった。その後，記念講演会では，群馬県のコケ類の特徴や国の天然記念物「六合チャツボミゴケ生物群集の鉄鉱生成地」の講演が行われ，1 日目が終了した。2 日目は，今年，奨励賞の受賞講演のち口頭発表，ポスター発表が行われ，ポスター発表で『日本に帰化する可能性のある蘚苔類 一園芸用中国産「山ごけ」の中身一』の発表を行い，多くの方々に今後の展望についてアドバイスをいただいた。3 日目の天神平では広島県とは違った多くのコケ植物の観察を行うことができた。今後の蘚苔類を扱う研究室の技術職員のスキル・知識向上と情報交換を行えた有意義な学会であった。